

## 令和4年度 北海道大学理学部 転部試験実施要項

### － 留意事項 －

新型コロナウイルス感染症対策のため、実施要項に記載の内容と異なる内容で試験を実施、若しくは試験を延期又は中止する可能性があります。

### 1. 募集人員

学科及び専修分野	募集人員
数 学 科	若 干 名
物 理 学 科	若 干 名
化 学 科	若 干 名
生物科学科(生物学専修分野)	若 干 名
生物科学科(高分子機能学専修分野)	若 干 名
地球惑星科学科	若 干 名

### 2. 出願資格：次の各号のすべてに該当する者

- (1) 本学他学部の2年次以上に在学していること。ただし、令和4年3月末日の段階で本学の在学期間が通算5年以下の者に限る。
- (2) 全学教育科目46単位以上を修得し、かつ、転部前の在籍学部又は本学部における全学教育科目の卒業要件を満たしていること。  
なお、令和4年3月末日までに上記要件を満たす見込みの者を含む。
- (3) 特別選抜(AO入試、帰国子女入試、私費外国人留学生入試)による入学者以外であること。
- (4) 志願者の学部・学科移行時の移行点が、転部を希望する学科(専修分野)の当時の最低移行点を超えていること。  
なお、総合入試入学者以外の移行点の算出については、総合入試入学者の移行点算出方法に準じて行うこととする。

※ 出願資格(4)の「転部を希望する学科の最低移行点」を確認する場合は、出願期間前に下記8. 宛に照会のこと。

### 3. 出願期間：出願する学科により下記のとおり異なる

[物理学科・化学科に出願する場合]

令和3年6月25日(金)から令和3年7月1日(木)まで

[数学科・生物科学科(生物学専修分野)・生物科学科(高分子機能学専修分野)・地球惑星科学科に出願する場合]

令和4年1月11日(火)から令和4年1月17日(月)まで

封筒の表に「理学部転部試験出願書類 在中」と朱書きし、書留郵便にて下記 8. の提出先へ送付のこと(上記期間内必着とする)。

また、身体に障害のある場合は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがあるので、出願期間内に下記 8. 宛に申し出ること。

#### 4. 出願書類

- (1) 転部願書・履歴書：別添様式
- (2) 写真票・受験票：別添様式
- (3) 在学証明書
- (4) 成績証明書
- (5) 所属学部長の受験許可書(様式任意：発行にあたっては、所属学部の教務担当へ事前に相談すること)
- (6) 受験票送付用封筒：別添封筒に志願者の郵便番号、住所及び氏名を明記し、374円分の切手を貼付して提出
- (7) 可否通知用及び連絡用シール：別添シールには志願者の郵便番号、住所及び氏名を明記して提出
- (8) 転部志望理由書：数学科及び地球惑星科学科出願者のみ、別添様式(枠内両面)を記入・提出

#### 5. 試験日程・場所及び出題内容等：出願する学科により下記のとおり異なる

数 学 科	<p>令和4年2月14日(月)</p> <p>10:00～11:00 筆記試験(微分積分学) 全学教育科目「微分積分学Ⅰ」及び「微分積分学Ⅱ」と同程度の内容について出題する。</p> <p>11:15～12:15 筆記試験(線形代数学) 全学教育科目「線形代数学Ⅰ」及び「線形代数学Ⅱ」と同程度の内容について出題する。</p> <p>14:00～ 口述試験 筆記試験に関連する質疑応答を行う。また、転部を希望する理由や、これまでの数学の学修状況等について問う。</p>
物 理 学 科	<p>令和3年8月23日(月)</p> <p>10:00～12:00 筆記試験(物理学) 力学、熱力学、電磁気学など、大学初年次ないし2年次前半に受講すべき物理系基礎科目の理解度を問う。</p> <p>14:00～ 口述試験 物理学の理解に欠かせない数学の基礎知識、物理系専門科目に対する意欲等、物理学専修を目指す上で、その動機と現段階での準備状況を問う。</p>
化 学 科	<p>令和3年8月25日(水)</p> <p>9:30～12:00 筆記試験(化学) 大学初年次ないし2年次前半に受講すべき化学系基礎科目(物理化学、無機・分析化学、有機化学)の理解度を問う。</p> <p>13:30～ 口述試験 化学科での専門科目履修に必要な基礎知識、転部志望の動機と準備状況を問う。</p>

<p style="text-align: center;">生物科学科 (生物学専修分野)</p>	<p>令和4年2月14日(月) 10:00～11:00 筆記試験(生物学) レーブン・ジョンソンの「生物学(上・下)」(培風館)または「キャンベル生物学」(丸善出版)の範囲に含まれ、全学教育科目「生物学Ⅰ」及び「生物学Ⅱ」の履修者が身につけておくべき生物学基礎に対する幅広い理解度を知らため、基礎生物学上の課題を提示して小論文を書かせる。 11:15～12:15 筆記試験(英語) 上記生物学の範囲に含まれる内容が英語で表現されたものを、的確に読み解き、正確な日本語で表現できるかどうかを問う。 13:30～ 口述試験 上記小論文の内容をめぐる質疑応答から、生物学上の基礎知識と論理展開力などを吟味する。</p>
<p style="text-align: center;">生物科学科 (高分子機能学専修分野)</p>	<p>令和4年2月14日(月) 10:00～ 口述試験 物理学・化学・生物学の基礎知識と論理展開力などを総合して出題する。</p>
<p style="text-align: center;">地球惑星科学科</p>	<p>令和4年2月14日(月) 10:00～ 筆答を含む口述試験 ・基礎的な英語と数学の理解度・知識を問うための簡易な筆答試験を行う。 ・地球惑星科学を学ぶ上で必要な科目の理解度・知識を問う。 ・地球惑星科学科を希望する動機と現在までの準備状況、将来の目標などについて問う。</p>

場所：北海道大学理学部(試験室等詳細については、それぞれの試験当日に理学部2号館1階ホールに掲示する)

## 6. 合格者の発表

物理学科・化学科については、令和3年9月2日(木)16:00頃、数学科・生物科学科(生物学専修分野)・生物科学科(高分子機能学専修分野)・地球惑星科学科については、令和4年3月3日(木)16:00頃にそれぞれ北海道大学理学部ホームページ(\*URL <https://www2.sci.hokudai.ac.jp/>)にて発表するとともに、受験者全員に対し、合否通知を郵送する。

なお、電話、電子メール等での合否情報の開示は一切行わない。

## 7. 転部後の修学条件等

### (1) 転部の時期及び年次

転部の時期は令和4年4月とし、転部後の年次は2年次とする。ただし、選考結果によっては3年次となる場合がある。

### (2) 在学年限及び休学可能期間

2年次へ転部した場合、在学可能期間は6年間、休学可能期間は3年間とする。

3年次へ転部した場合、在学可能期間は4年間、休学可能期間は2年間とする。

なお、上記それぞれの場合において転部前の期間と合算し、在学期間8年間及び休学期間4年間を超えることはできない。

また、休学期間は在学期間に算入しない。

## 8. 出願にあたっての書類提出先及び問い合わせ先

〒060-0810 札幌市北区北10条西8丁目

北海道大学 理学・生命科学事務部事務課教務担当

(理学部2号館1階 学務担当合同事務室)

電話：011-706-2836

### 個人情報の取り扱いについて

- (1) 本学が保有する個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人北海道大学個人情報管理規程」に基づき、保護に万全を期しています。
- (2) 出願にあたってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜(出願処理、選抜実施)、②合格発表、③入学手続、④入学者選抜方法等における調査・研究、及び⑤これらに付随する業務を行うために利用します。
- (3) 出願にあたってお知らせいただいた個人情報は、合格者のみ入学後の①教務関係(学籍、修学指導等)、②学生支援関係(健康管理、奨学金申請等)、③授業料等に関する業務、④附属図書館利用に関する業務、⑤情報教育施設利用に関する業務を行うために利用します。
- (4) 北大フロンティア基金、同窓会、北海道大学体育会からの要請があった場合は、(3)の個人情報のうち、氏名、住所に限って、安全確保の措置を講じた上、当該組織の活動に必要な範囲で提供することがあります。
- (5) 各種業務での利用にあたっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者(以下、「受託業者」という)において行うことがあります。業務委託にあたり、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、お知らせいただいた個人情報の全部又は一部が提供されます。

令和3年6月